

世界を破壊する グローバリズムと雇用問題

経済力を作る 3つの要素

人
もの
技術

これらを強くするには...

人が働き続けること

経験によるノウハウ蓄積

やがて人は人財となり
技術とものが
進化する

その国の経済力の発展は 若い国民が働いているか、 つまり、若年失業率が高いか、低いか、で 決まる

米・露・中・韓.....10%台

欧州.....20%台

スペイン.....58%

ギリシャ.....53%

日本.....6.5%(2014)

4.8%(2016)

この低失業率は、安倍政権の経済政策のおかげではない
単に少子高齢化による生産年齢人口の減少という
自然現象

低失業率とは、人手不足だということ

この深刻な人手不足状況を いかに打開するか...3つの道

1 生産性の向上を図る

経済成長ができて、みんなが豊かになる日本

2 外国人労働者で充足する

賃金切り下げ競争 → 貧困化 → 移民国家日本になる
いまのヨーロッパみたいになる

3 前1, 2をしない

経済力の減退 → 発展途上国型日本になる

正解は 1

なぜ、日本以外の諸国の失業率が高いのか？

グローバリズム2つの理由

資本移動の自由

工場をどこの国へ移動しても良い

低賃金の国へ移動すれば、もうかる

本国の工場はなくなり、
雇用の機会は減少

雇用の機会は、外国で増える

日本でいえば、中国や東南アジアで増えた

海外投資は増えたが国内投資は減少

労働者移動の自由

低賃金外国人労働者の導入

雇用の奪い合い発生

雇用競争激化・不安定化

若年層の雇用の
極端な減少

デフレが違い打ち
バブル崩壊と緊縮財政
特に
ギリシャ・スペイン

例えば、ギリシャ:
EUから公務員削減の強要

新規公務員採用のストップ

製造業もあまりないため、
学卒の行き場がなくなった

グローバリズムへの反乱

ドナルド・トランプ現象

アメリカ国民の不満の爆発

イギリスのEU離脱

イギリス国民の不満の爆発

もう少し
自国の国民の雇用や所得、投資に
目を配る必要があるのではないか

内需拡大により

みんなが豊かになる

これを目当てに企業が投資をして、成長する
という好循環パターン